



# ふれあい

316号

医療法人百花会  
上野公園病院

大分県日田市上野町2226-1

2018年3月発行

電話 0973-22-7723

## もの忘れ改善薬について

医師 上野 孝男

この1年でテレビのCMなどで、もの忘れ改善薬というものをよく見かけるようになりました。新しく開発された医薬品なのでしょうか？今回はこの話題を取り上げたいと思います。

これらはオンジ(遠志)という生薬の製品で昨年5つの製薬会社から発売されています(図1)。オンジはイトヒメハギの根、又は根皮(図2)で加味温胆湯、人参養榮湯、帰脾湯といった漢方処方に含まれ、強壮、鎮静などの目的で使用されていました。

○主なオンジ製品

(図1)

製品名	アレデル顆粒	キオグッド顆粒	ワスノン	シオノギオンジ顆粒	メモリーケア
販売元	クラシエ製薬	ロート製薬	小林製薬	シオノギヘルスケア	大正製薬
製品外観					
効能・効果	中年期以降の物忘れの改善				
販売開始月	平成29年7月	平成29年4月	平成29年6月	平成29年6月	平成29年10月

(図2)



(表)

ところが、2015年に「単味生薬製剤の製造に関するガイダンス」というのが厚生労働省から出され、その中で単味生薬製剤のオンジの効能として「中年期以降の物忘れの改善」が記載されたのです。このガイダンスは主に医療用ではなく、一般の薬局や漢方薬局で販売されている単剤の生薬について、その標準的な製法や効能などを、全国統一で定めたものです。この事が引き金となって認知症が取沙汰される昨今、急にオンジ製剤がいくつも発売されることになったのです。

	正常なものの忘れ	認知症によるもの忘れ
もの忘れの範囲	出来事などの一部を忘れる (例：何を食べたか思い出せない)	出来事などのすべてを忘れる (例：食べたことそのものを忘れる)
自覚	もの忘れに気づき、思い出そうとする	もの忘れに気づかない
学習能力	新しいことを覚えることができる	新しいことを覚えられない
日常生活	あまり支障がない	支障をきたす
幻想・妄想	ない	起こることがある
人格	変化はない	変化する(暴言や暴力をふるうようになる、怒りやすい、何事にも無関心になるなど)

ここで気になるのは、認知症の予防や治療に使えるのか？、脳神経細胞の増加や再生がされるのか？、脳全体が活性化するのか？、既に忘れてしまった記憶がよみがえるのか？、といったところでしょうか。残念ながら、これらは全て認可された効能を超えた誤解です。厚労省が認めた効能はあくまで加齢に伴う自然なものの忘れであって、認知症の予防や治療効果は認められていません(表)。

オンジの元であるイトヒメハギの抽出物については、神経栄養因子を増加させるというような動物実験のデータは複数存在していますが、人間において実際に認知機能を検証した研究は、韓国で行われた少数例の短期間のものしかなく、その成分が日本で使用されているオンジと、同じであるという確認もされていませんし、長期の安全性と有効性のいずれも不明であり、認知症の予防や治療に使用されるものではないというのが厚労省、及び日本医師会の見解です。

これらの薬の発売当初は、これらの大きな期待と誤解を招く広告や宣伝があり、問題となったため昨年11月に厚労省から関係機関に通達があり、医師会でも特に認知症の予防や治療に使用されるものではないということを強調しています。これらのもの忘れ改善薬を内服するのはかまいませんが、表にあるような正常なものの忘れでない場合や同年代の人に比べて明らかにもの忘れがひどいと思う場合は早目にもの忘れ外来などの専門機関に受診するようにしましょう。

## 家族のつどい

ふれあいデイ委員 野見山 真由美

昨年9月14日に開催した家族のつどいにお忙しい中参加いただきありがとうございます。作業療法士からの認知症についての講義は、いかがでしたでしょうか。毎日、認知症患者さんに適したレクレーション活動や、ADL維持の為に訓練を行なっている作業療法士からのお話は、また、先生とは違った観点の講義内容でよかったのではないかと思います。

認知症患者さんを自宅で介護するという事は、とても大変なことだと思います。家族の方からも、「入院する前は、常に行動を共にして見守らなければ危険な為、精神的にも肉体的にも大変でした。病院に入院させてしまって申し訳ないとは思いますが面会に来て穏やかに過ごしている姿を見て安心しています。」などの声がありました。同じ境遇の家族の方と認知症の介護について話し合うことで、病気のことを理解してもらえたのではないのでしょうか。今後も家族のつどいが家族同士の交流の場となり、認知症患者さんとの関わり方を学ばきっかけになればと考えています。



医療法人百花会 上野公園病院

通所リハビリ ふきのとう  
居宅介護支援センターうえの

ホームページアドレス

<http://www.uenokoen-hospital.jp/>

E-mail

[uenokoen-hp@qiga.ocn.ne.jp](mailto:uenokoen-hp@qiga.ocn.ne.jp)

## 第19回ひなまつり健康マラソンに参加しました！！

作業療法士 栗鶴 誠志



第19回天領日田ひなまつり健康マラソンが3月11日に開催されました。今回私は3回目のチャレンジでしたが、年々当院の職員さんの参加も増えてきています。今年なんと18名の参加で、院長をはじめ先生方4名も参加されました！。コースは5.5<sup>km</sup>・10<sup>km</sup>・ハーフマラソンなど距離も様々あり、今年は約1250名ほどの参加人数だったようです。

認知症の予防としても、運動が効果的と言われています。当院の院長は、「マラソンやチャレンジウォークなどの大会にエントリーすることで、目標ができて、運動することへのきっかけづくりになる。」と常々言われています。私は、そのきっかけが習慣となり、心や体の健康につながるのではないかと思います。また、当院の職員さんたちがこういった活動へチャレンジして行くことが大切で、年々職員さんの参加が増えている事はとても嬉しいことです。



やはり、走るということはとてもきついですし、息も切れ、疲れますが、みんなで豆田の町を走り、沿道からの応援やランナー同士で声を掛け合う事もあったり、自分を鼓舞することで、走り終わったあとの達成感は一とおです。走り終えたあとの打ち上げのごはんやお酒もとてもおいしいです。

秋にはチャレンジウォークもあります。みなさま運動習慣づくりのきっかけにエントリーしてみるのはいかがでしょうか？

